

(様式 1)

授業科目 ケースワーク論

科目コード番号

【担当教員名】 柴山悦子	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要及び学習目標】

<概要>

ソーシャルワーク技法の一つである「ケースワーク」について学習する。
ケースワークの定義、ケースワークの原則について学び、医療機関におけるケースワークサービスの実際についても学習する。

<学習目標>

- ・ケースワークとは何かが概説できる。
- ・ケースワークはどのような機関・部署で活用されているか概説できる。
- ・医療機関におけるケースワークについて概説できる。
- ・医療機関のソーシャルワーカーと社会福祉機関のソーシャルワーカーとの連携について理解できる。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	社会福祉の方法について学ぶ	ケースワークとは何かについて学ぶ 1. 定義 2. 歴史 3. 実践されている機関・部署	講義
2, 3	バイステックの原則について	1. ケースワークをすすめていく上で必要な基本的態度について学ぶ 2. ビデオ『信頼関係を結ぶ面接技術』を見る	講義・VTR
4	ケースワークの実際	ケースワークの進め方の講義を受けた後、ロールプレイを試みる	講義・ロールプレイ
5, 6	医療機関におけるケースワークの実際	1. 援助例を学ぶ 2. ソーシャルワーカーの働きについて学ぶ 3. 事例を誦読する 4. グループに分かれ事例をまとめる	講義・グループ学習
7	学習した内容をまとめる	前回4. のグループごとにケースワークに就いて学んだ内容をまとめ、発表する	グループ学習

【評価方法】

出席状況、学習態度、試験（またはレポート）により評価する

【履修上の留意点】

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	ケースワークの原則：援助関係を形成する技法	F・P・バイステック 尾崎新他訳	誠信書房	1996年、2000円 ISBN：4-414-60403-6
参考書				
その他 (プリント等)	適宜配布する			